



平成30年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 加藤産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 神月 豊

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	261,197	2.1	3,087	12.6	3,510	11.1	2,145	4.1
29年9月期第1四半期	255,858	1.5	2,742	16.2	3,159	15.0	2,061	20.9

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 4,206百万円 (6.0%) 29年9月期第1四半期 3,969百万円 (81.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	58.56	
29年9月期第1四半期	56.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	365,588	116,590	31.0
29年9月期	339,156	113,463	32.5

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 113,227百万円 29年9月期 110,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		23.00		29.00	52.00
30年9月期					
30年9月期(予想)		28.00		28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年9月期期末配当金の内訳 : 普通配当25円00銭 記念配当4円00銭

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	492,000	1.3	5,200	0.3	5,700	3.0	3,800	3.9	103.74
通期	1,000,000	2.7	9,820	5.6	11,000	5.6	7,000	3.0	191.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	38,153,115 株	29年9月期	38,153,115 株
期末自己株式数	30年9月期1Q	1,522,642 株	29年9月期	1,522,502 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	36,630,535 株	29年9月期1Q	36,630,988 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善、世界経済の成長等を背景として緩やかに回復しており、海外情勢においても、米国の着実な景気回復及び中国景気の持ち直しが見られますが、今後の政策に関する不確実性による影響で下振れリスクの懸念があり、国内景気の先行きは不透明であります。

食品流通業界におきましては、雇用環境及び所得環境は堅調に推移しているものの、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いています。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活の多様化も見られ、小売業の業態を超えた競争が激しくなり、さらに、人手不足等に伴う物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において当社グループは、卸売業の役割である「つなぎ」と自販力を基盤とした卸売業としての営業機能を強化して店舗の売場創造提案を行うとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進め、価格だけに頼らない価値の提供に取り組みました。また、業務の生産性向上に取り組むことで諸経費の抑制に努め、ローコストオペレーションを進めました。

海外事業においては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、中国・シンガポール・ベトナム国内での食品卸売事業の展開と食品流通事業の構築を図っております。さらに、平成30年1月にはマレーシアに本社を置くLein Hing Holdings Sdn. Bhd.の株式を取得し、日本を含めたアジア地域における事業展開の一層の強化を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて2.1%増加し、2,611億97百万円となり、営業利益は30億87百万円（前年同四半期比12.6%増）、経常利益は35億10百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べて4.1%増加し、21億45百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、日常の生活関連消費における生活防衛意識の強さが続いている一方で、消費者の生活スタイルの変化等によって需要の多様化も見られ、小売業の業態を超えた競争が激しくなっています。さらに、人手不足等に伴う物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために、仕入先と連携しながら得意先との関係強化を一層深めるとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めました。また、業務の生産性向上に取り組むことで諸経費の抑制に努めました。

以上の結果、売上高は1,877億41百万円（前年同四半期比1.7%増）となり、営業利益は22億86百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、雇用情勢の改善傾向により個人消費は緩やかに回復しているものの、小売業の内製化に伴う卸売業に対する要望の変化に加え、慢性的な人手不足によるコスト上昇など経営環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下において、利益商材の拡売や日配商品を中心に主軸商材の提案を強化することで収益の改善に取り組むとともに、業務改善など生産性向上によるコスト削減に努めました。

以上の結果、売上高は265億24百万円（前年同四半期比3.4%増）となり、営業利益は1億62百万円（前年同四半期比38.4%増）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が続いている一方で、所得環境の改善を背景に価格と価値を伴った上級化・上質化商品への需要移行が見られ、消費の二極化が一層鮮明になっております。また、成熟化した市場の中で、国内人口の減少や少子高齢化に伴う飲酒人口の減少、若年層のアルコール離れによって酒類市場の縮小傾向が続いており、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。そして、平成29年6月には酒税法等の一部改正法が施行されたことで酒類業界全体の収益改善が図られているものの、消費者の購買行動に変化が見られ、今後の消費動向及び企業間の競争環境は先行き不透明であります。

このような状況下において、主要取引先との取り組みや利益商材の拡売など自販力及び提案型営業の強化を図るとともに、商品毎の利益管理を徹底し、生産性向上やコスト削減によるローコストオペレーションにも取り組むことにより収益改善を進めました。

以上の結果、売上高は486億70百万円（前年同四半期比1.5%増）となり、営業利益は3億40百万円（前年同四半期比230.0%増）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流事業での取引増加により売上高は31億29百万円（前年同四半期比3.4%増）となり、営業利益は2億98百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ264億31百万円増加し3,655億88百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及びたな卸資産が増加したことから、231億24百万円増加し2,583億85百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により、33億7百万円増加し1,072億3百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、227億51百万円増加し2,350億96百万円となり、固定負債は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、5億52百万円増加し139億1百万円となりました。

純資産は、31億27百万円増加し1,165億90百万円となり、その結果、自己資本比率は31.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月10日の「平成29年9月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,157	67,328
受取手形及び売掛金	136,799	154,356
有価証券	1,408	1,601
商品及び製品	21,329	26,615
仕掛品	6	6
原材料及び貯蔵品	324	345
繰延税金資産	638	409
その他	5,993	8,199
貸倒引当金	△396	△478
流動資産合計	235,261	258,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,184	15,063
機械装置及び運搬具(純額)	2,308	2,327
工具、器具及び備品(純額)	494	487
土地	24,869	24,873
リース資産(純額)	1,193	1,222
建設仮勘定	103	882
有形固定資産合計	44,153	44,857
無形固定資産		
のれん	2,607	2,440
ソフトウェア	3,022	3,018
電話加入権	45	45
その他	49	39
無形固定資産合計	5,724	5,543
投資その他の資産		
投資有価証券	39,391	42,256
差入保証金	5,414	5,423
投資不動産(純額)	3,515	3,479
繰延税金資産	315	272
退職給付に係る資産	1,523	1,577
その他	3,959	3,899
貸倒引当金	△102	△107
投資その他の資産合計	54,017	56,801
固定資産合計	103,895	107,203
資産合計	339,156	365,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197,494	221,418
短期借入金	270	277
リース債務	465	465
未払金	8,900	9,790
未払費用	241	146
未払法人税等	2,122	1,034
未払消費税等	887	295
繰延税金負債	0	—
賞与引当金	1,193	617
役員賞与引当金	52	25
その他	717	1,026
流動負債合計	212,345	235,096
固定負債		
長期借入金	300	214
リース債務	813	838
繰延税金負債	5,013	5,802
役員退職慰労引当金	343	323
退職給付に係る負債	5,295	5,257
資産除去債務	157	165
その他	1,424	1,299
固定負債合計	13,348	13,901
負債合計	225,693	248,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,760	8,760
利益剰余金	84,966	86,049
自己株式	△2,981	△2,982
株主資本合計	96,679	97,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,057	14,822
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△125	△15
退職給付に係る調整累計額	662	658
その他の包括利益累計額合計	13,596	15,466
非支配株主持分	3,187	3,362
純資産合計	113,463	116,590
負債純資産合計	339,156	365,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	255,858	261,197
売上原価	239,534	244,309
売上総利益	16,324	16,888
販売費及び一般管理費	13,581	13,800
営業利益	2,742	3,087
営業外収益		
受取利息	58	46
受取配当金	247	288
持分法による投資利益	—	13
不動産賃貸料	78	83
為替差益	—	17
貸倒引当金戻入額	0	—
売電収入	22	21
その他	92	102
営業外収益合計	499	573
営業外費用		
支払利息	12	8
持分法による投資損失	4	—
為替差損	4	—
不動産賃貸費用	35	35
貸倒引当金繰入額	—	80
売電費用	20	18
その他	5	7
営業外費用合計	82	150
経常利益	3,159	3,510
特別利益		
固定資産売却益	140	6
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	145	6
特別損失		
固定資産除売却損	42	6
投資有価証券売却損	0	—
貸倒引当金繰入額	—	4
リース解約損	1	0
特別損失合計	44	11
税金等調整前四半期純利益	3,260	3,505
法人税、住民税及び事業税	814	936
法人税等調整額	301	267
法人税等合計	1,116	1,204
四半期純利益	2,143	2,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	156
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,061	2,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,143	2,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,015	1,800
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△168	112
退職給付に係る調整額	△5	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△2
その他の包括利益合計	1,825	1,904
四半期包括利益	3,969	4,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,835	4,014
非支配株主に係る四半期包括利益	134	191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	181,775	25,596	46,922	254,294	1,564	255,858	—	255,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,789	53	1,010	3,853	1,461	5,314	△5,314	—
計	184,565	25,649	47,932	258,148	3,025	261,173	△5,314	255,858
セグメント利益	2,231	117	103	2,452	289	2,741	1	2,742

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	184,638	26,446	48,467	259,552	1,644	261,197	—	261,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,102	78	202	3,383	1,484	4,868	△4,868	—
計	187,741	26,524	48,670	262,935	3,129	266,065	△4,868	261,197
セグメント利益	2,286	162	340	2,789	298	3,087	△0	3,087

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。